

# 県 外 派 遣 報 告 書

栃木県バスケットボール協会 審判部

<b>大会名</b>	関東スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	<b>開催地</b>	神奈川県(平塚サン・ライフアリーナ)
<b>報告者名</b> (所属連盟)	大坪祐二、田中由紀子、宮島叶星 (U12)	<b>派遣期間</b>	令和 4 年 7 月 30 日 ~ 31 日
<b>参加者</b> (所属都県)	茨城県 ◎飯島佑紀 工藤雅子 山崎 諒	群馬県 ◎中島孝博 都築陽介 根岸淳也	
	山梨県 ◎大木裕一 林 亜実 浅田 茂	栃木県 ◎大坪祐二 田中由紀子 宮島叶星	
	東京都 ◎管 祐介 永山一樹 山口 淳	神奈川県 ◎山岡 忠 福田辰夫 田代雅彦 宇田川昌彦	
	千葉県 ◎大網康志 斎藤圭介 五十嵐圭太	鈴木 潤 萩原悠太 榛澤直行 渡部 侃 山内世里香	
	埼玉県 ◎小泉 登 江川茂久 加藤美昂	山田 聡 本田雄一 高橋哲平 増田義人 佐藤拓也	
		高野修一	

敬称略 ◎審判長又は審判長代理

**【審判会議内容】**

1. 関東ブロック長 中島 孝博氏 挨拶
  
2. 神奈川県U-12審判部会長 山岡 忠氏 挨拶
  
3. 神奈川県競技部長 野上氏 挨拶
  
4. 諸連絡

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

審判員名 大坪 祐二

割当日	令和4年7月30日(土)	CC	大坪 祐二
カード	女子 開桜MBC (東京) vs みどり笠東 (群馬)	U1	加藤美昂氏(埼玉)
◇ ミーティングの内容			
ゲームの入り方、24秒・14秒の管理、トラベリングの判定がしっかり出来て試合に入れた。			
4Q、2人のポジションが悪かった為に、影響のあるディフェンス・手のファウルが判定出来ないケースがあった。トレイル・リードの位置取りの工夫(二人の協力)、修正が必要だった。			
《審判主任》 山岡 忠氏 (神奈川)			

割当日	令和4年7月31日(日)	CC	大坪 祐二
カード	女子 敷島南 (山梨) vs 明治 (神奈川)	U1	五十嵐 圭太氏(千葉)
◇ ミーティングの内容			
TO のタイマー・ショットクロックに不安があった中、2人でコミュニケーションをとって、大きなTOトラブルを未然に防ぐ管理・ゲームコントロールが出来ていたと思う。			
スティール場面が多かったが、しっかりプレイを見極め判定が出来ていた。トレイルの位置取りが高い時があり、シュートファウルの判定に繋がらない時があった。相手レフェリーとの関係・位置取りの工夫。			
全体的には良くまとめて判定が出来ていた。			
《審判主任》 高橋 哲平氏 (神奈川)			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回、数十年ぶりに仲井審判長代理で関東スポ少に参加させて頂きました。派遣に関しまして、御配慮頂きました、梶崇司 審判長、仲井順 U12審判長をはじめ審判委員会の皆様方に感謝申し上げます。

2日間で2ゲームを担当させて頂きました。いろいろな要素が詰まった内容の濃いゲームでとても勉強になりました。新たな意味でのコミュニケーション力を学び・引き出しを増やせたかと思えます。また、若手審判員のプレゼンテーションがしっかり出来ていることも感じ取れました。今回学んだこと・感じたことを県内講習会・大会等、機会がありましたら審判員に伝えていきたいと思えます。私としましては今回アドバイスを頂いたこと、課題を克服して日々の審判活動に取り組んで参ります。今後とも御指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。最後になりますが、神奈川県協会U12部会の皆様方、大会関係者の皆様、コロナ感染防止対策を講じての大会運営、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

審判員名 田中由紀子

割当日	令和4年 7月30日(土)	CC	渡部 侃氏 (神奈川)
カード	男子 榛名(群馬) - ウィングス (千葉)	U1	田中 由紀子
◇ ミーティングの内容			
・1試合通して、お互いの判定基準は示せていたと思う。			
・相手レフリーがswitchsideに来た時のトレイルの位置取りを工夫できると良かった。二人が同じところを見 てしまい、穴になってしまう瞬間があった。その事を合間に話してすり合わせ出来ると良かった。			
・相手レフリーから見え辛いangleで差し違えがあった。その時のTの位置が高く、訂正やヘルプが出来ない 位置にいた。ヘルプを求められる想定をしてレベルを下げる意識が持てると良い。			
《審判主任》飯島 佑紀氏 (茨城)			

割当日	令和4年 7月30日(土)	CC	田中 由紀子
カード	男子 ファイターズ(東京) - 朝霞フレンズ (埼玉)	U1	山田 聡氏 (神奈川)
◇ ミーティングの内容			
・ベンチの様子がやや異質であった。それを感じてもっと主導権をとってコントロール出来ると良かった。イン テグリティに触れている場面もあった、けが人への対応も間延びしすぎてしまい、片方が得をしている印象に なっていた。早い段階に声をかけ、レフリー側が主導することで改善できるところがあったと思う。			
・4Qlastshot、その前のファウルになったケースを考えると笛を入れて2ショット打たせても良かったと思う ベンチもその方が納得して終わったのではないかな。			
・コンスタントに笛を入れていたが、精度を上げてほしい。特にshotはノーコールでも良いものがあった。			
《審判主任》大木 裕一氏 (山梨)			

割当日	令和4年 7月31日(日)	CC	大木 裕一氏 (山梨)
カード	女子 開桜MBC(東京) - 香川(神奈川A)	U1	田中 由紀子
◇ ミーティングの内容			
・力の差がある中で、レフリーとしてどこで基準を引くか。ベンチやプレイヤーにメッセージが伝わる触れ合い を感じて笛を入れられると良い。			
・エリア3が遠くなってしまい、相手レフリーに助けをもらうことがあった。確認が薄くなっていることを確認で きていたなら、途中で修正できると良かった。			
・ターンオーバーやブレイクがあった時にはnewLは必ず遅れると思っていた方が良い。自分がnewTの時に 必ず追いかけて上から助ける意識をもって欲しい。			
《審判主任》山岡 忠氏 (神奈川)			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今大会は、身体的にも技術的にも高いチームが多数参加しており、近年のU-12プレイヤーの技術向上を改めて感じられる大会となりました。プレイヤーのレベルは上がっていますが、U12は依然2POが主体です。今回の大会では、私自身、更に2POの理解を深め、それに対応する体力を身につけなければ、レベルの上っていくU12の試合に対応出来ないと感じました。県内では3POでの試合を担当させていただくことが増えましたが、もう一度、2POメカニクスなどを確認し直し、正しい判定をオンザコートで出来るようにしなければと気が引き締まる2日間でした。今大会で感じたことを県内のレフリーにも伝えていくと共に、自身のレフリー技術向上に努めて参ります。そして、県内のU-12カテゴリーに貢献していければと思います。

関東スポ少に派遣して下さった県内各位、大会中お世話になりました関東U-12カテゴリー各位に厚く御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

審判員名 宮島 叶星

割当日	令和4年7月30日(土)	CC	根岸 淳也氏(群馬)
カード	女子 明治(神奈川) vs 東深井レインボーズ(千葉)	U1	宮島 叶星
◇ ミーティングの内容			
《プレカン》			
・スイッチサイドに積極的に行く。			
・ベンチとコミュニケーションを取りながら進める。			
《講評》			
・インターバル後のリスタートが早くスムーズだった。何も起きなく収められた良い試合だった。			
・ファーストコールがオーバーエリアだった。コンタクト的にももう少し様子を見てもいい現象だった。			
・ファーストコールをもっと丁寧に行う。			
・スイッチサイドに積極的に行っているのは良かった。			
・もっと声を出して試合を進められるとよかった。 <span style="float: right;">《審判主任》 小泉 登氏(埼玉)</span>			

割当日	令和4年7月31日(日)	CC	山岡 忠氏(神奈川)
カード	女子 みどり笠東(群馬) vs 大野(茨城)	U1	宮島 叶星
◇ ミーティングの内容			
《プレカン》			
・リードが積極的に動き、スイッチサイドに行く。			
・ベンチとコミュニケーションとりながら試合を進める。どうしたら協力してゲーム運営を行っていきけるかを意識しながら言葉掛けをする。			
・情報共有はその都度行う。			
《講評》			
・ベンチとのコミュニケーションの取り方は良かった。TやLのときによく足を運んでいたのは良かった。			
・コンタクトはあるが全体像で捉えるとノーコールでもよい場面がいくつかあった。			
・プレーを予測して先回りできるようにする。 <span style="float: right;">《審判主任》 管 祐介氏(東京)</span>			

割当日	令和4年7月31日(日)	CC	都筑 陽介氏(群馬)
カード	男子 桜丘(神奈川) vs 河和田(茨城)	U1	宮島 叶星
◇ ミーティングの内容			
《プレカン》			
・表示物の管理は二人で確認する。			
・アイコンタクトと情報共有をしながらゲームを進める。			
・ベンチとコミュニケーションを取りながらゲームを進める。			
《講評》			
・色々なことを気にしてレフリングしているのが伝わってきて良かった。			
・ベンチのことをもっと気にして対応できるとよかった。			
・スイッチサイドに行ったときに、セットアップポジションから動かないことがある。もっとクローズダウンをしなければいけない場面もあった。 <span style="float: right;">《審判主任》 大木 祐一氏(山梨)</span>			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回は、栃木県派遣審判員として参加させていただきました。初めて参加させていただいた大会で、各県の審判員の方々から学ぶことがたくさんあり、様々な刺激を受けることができた二日間でした。

今大会を通して、ファーストコールを丁寧に行うことの大切さを改めて実感すると同時に、課題であると感じました。今後は、試合をスムーズに進めて収めるために、試合やピリオドの始まりをより丁寧にみて判定することを意識していきたいと思いました。また、「コンタクトはあるがプレーの全体像を見ると判定をいれるべきかどうか」をよく見極める必要があった現象がいくつかあったため、プレーの流れや全体像を見て考えてレフリングできるようにしていきたいと感じました。

最後になりますが、今回の派遣に際しまして、梶審判長をはじめ、県内審判員の皆様、大会関係者各位に心より感謝申し上げます。